



2009～2010年度
国際ロータリーのテーマ

ロータリーの未来はあなたの手の中に

事務局・例会場 鹿兒島東急イン
〒890-0053 鹿兒島市中央町5-1-9F
TEL 090-5295-2736
FAX 099-251-5290
例会日 毎週木曜日 12:30～13:30

会長 松田 泉
会長エレクト 前田 正幸
幹事 井川 良仁
編集 会報・広報委員会

Eメール kswrc@po5.synapse.ne.jp ホームページ <http://www.r2730.org/southern/>

Vol. 14-32

第606回例会 平成22年3月4日(木) プログラム「会員卓話 押井啓一君 定款細則変更例会」

前回第605回例会[2月25日(木)]の報告 於：東急イン

【会長アドレス】 会長 松田 泉

昨日、鹿兒島西南 RC の30周年記念式典に幹事と出席しました。現在会員数20名で、全会員が一丸となって頑張っておられる感がありました。その中にチャーターメンバーが1名いらっしゃるということで、浅はかにも少ないな、などと考えておりましたが、創立13年の我がクラブが17年後の30周年を迎える2026年に、自分の年齢を顧みて現在13名のチャーターメンバーが何名在籍しているか考えますと、30周年や50周年にチャーターメンバーがいるということは大変なことなのだ、その年月の重みを改めて思った次第です。

さて、毎年発行されるロータリー手帳(今年度灰色)の中に、買われている方はおわかりだと思いますが、毎回ロータリー関連資料という小冊子が付いています。その中に国際大会開催場所と登録者数が掲載されています。因みに今年度はモントリオールで6月に開催予定です。第1回は1910年にシカゴで60名の登録者数で開かれ、以来昨年平さんが参加されたバーミンガムまで100回、毎年欠かすことなく開催されております。欠かされることが無かったということは世界の状況を鑑みますと素晴らしいことだと感嘆した次第ですが、興味があったので、国別に開催地の統計を取ってみました。①米国61回、②カナダ6回、③メキシコ、英、仏各4回、⑥日本3回、⑦豪、ブラジル、スイス各2回で、その他の12カ国が1回ずつの計100回です。アメリカの6割を越す回数にはやはり主導権を持つ意味が感じられますが、開催国の中にはアルゼンチン、台湾、キューバなどもあり、改めていろいろな国で開催されているのだと思ったことでした。また、他の国は会員が結構増えているにもかかわらず、3回開催されている日本で会員が激減している状況を踏まえ、もっと考えなければと思ったことでした。

【会務報告】 副幹事 佐藤俊一

- ① 薩摩川内RC創立30周年記念式 4/10(土)16:00
～ホテルグリーンヒルにて行われます。出席希望者は事務局まで。
- ② 鹿兒島市内10RCで協賛しました「かごしまアジア青少年芸術祭」の報告書を回覧します。

【ニコニコBOX】

- ◆松木實君(鹿兒島RC) 鹿兒島市内のロータリアンの卓話に謝礼は不要だという見解を持っておりまして、ニコニコさせていただきます。
- ◆山田紘充君(川崎日吉RC) 皆様こんにちは。川崎日吉RCから4名でまいりました。昨年は家内を卓話にお招き頂き誠に有難うございました。本日はスピーカーの松木實様の卓話を拝聴する為、東京よりまいりました。宜しくお祝い致します。
- ◆種子島登君(鹿兒島RC) 鹿兒島ロータリークラブの松木副会長が卓話をさせて頂くという事で応援に来ました。宜敷くお祝い致します。

【ゲスト】(卓話者) 鹿兒島RC 松木實会員

【ビジター】 鹿兒島RC・・・種子島登君

川崎日吉RC・・・

山田紘充君・高橋秀樹君

吉留 嵩君・山田愛子さん

(バナー交換)



◆池田耕夫君 松木實様、本日の卓話楽しみにしています。宜しくお祝い致します。

◆小林千鶴君 松木先輩、お元気ですか?如水会の方、ごぶたさばかりですみません。本日は、先輩のお話が聞けなくて残念ですが宜しくお祝いします。

《ニコニコBOX累計額 ¥187,333》



2月23日はロータリーの創立記念日。創立時4名の食事を再現して「スパゲティ」と致しました。(SAA 赤塚)

鹿兒島サザンウインドロータリークラブ

2009～2010年度 クラブテーマ 「善いことを思い 実行しよう！」

【プログラム】ゲスト卓話 鹿児島RC 松木實会員
「外国のロータリー・クラブを訪ねて」



外国の RotaryClub を訪ねるのは、それぞれのお国柄が出ていて楽しいものである。1994年に G・S・E プログラムで南仏プロバンスに約 5 週間滞在していた時は、地区のクラブを

15ヶ所くらい訪問した。姉妹クラブであるナポリ RC (イタリアで 2 番目に古い) や、G・S・E プログラムをお願いに行ったパリ RC (フランスで 1 番古い) は、さすがに格調高い雰囲気を持っていた。オーストリアのリント RC、ドイツのハイデルベルグ RC はやはりラテンの国々のクラブに比べて少々固かった。

上海に行く事があったので、この機会に社会主義国の RotaryClub を訪問してみようと思い調べてみると、中国は現在北京と上海に 1 つづつクラブがあることがわかった。上海 RC の方が古く、1919 年に正式登録されている。日本で一番古い東京クラブが 1920 年に登録されているから、日本より中国の方がロータリーにおいては先輩ということになる。ただしその後の戦争や社会主義革命という歴史を経て約 50 年間中断し、2001 年 6 月に暫定的承認となり、2006 年 2 月 8 日正式登録となったばかりである。

出席してみても驚いた。今まで訪れた外国や国内のロータリー例会と比べて非常に楽しいものであった。まず会場入口ではクラブ会長がにこやかに出迎え、握手しながら一言づつ声をかける。ここでまず来て良かったという実感が湧いてくる。ワインかソフトドリンクを選んで会場に入ると、すぐ何人かの会員がいかにもよく来てくれたという笑顔で話しかけてくれる。このカクテルタイムの 30 分間が終わる頃には、何人かの会員やビジターと親しくなった。

7 時丁度クラブ会長がコップを鳴らして (点鐘はない) 例会開始を宣言する。最初に参加者全員が起立して 4 つの誓いを最初は英語で、次に中国語で斉唱して着席。次に幹事報告、3/14 にクラブアッセンブリーがあるので、北京まで行って欲しいとか、日曜日に開かれる家族ランチ会のお知らせ等。次いで SAA の司会により当日のビジター紹介。各自立ち上がってユーモアを交えながら話すのだが、なかなか場慣れしている。その日のビジターは約 20 名。国際都市上海だけあって世界各国、たぶん 10 カ国以上の国々から出席しておられた。この自己紹介で例会場が一段とにぎやかに、そして和やかになった。そのあと当日会員やビジターがプレゼントとして持参した物品のセリが行われたが、これも SAA のユーモア溢れるうまいリードによりどんどん値段が上がっていき、競り落とされてクラブへの寄付となる。しばらく食事を楽しんだ後、SAA が会員・ビジターの間を廻り HappyMoney (ニコニコ箱) を呼び掛ける。彼はある程度情報を集めているのだろうが、指名された会員は立ち上がって自分が Happy である所以をユーモアを交えて話し、献金箱に入れていく。裸銭であるので小さな御礼は恥ずかしいという気持ちになる。ビジターもつられて会員

に続く。私も Happy な気持ちを述べて 100 元入れた。後刻クラブ会長からの発表では 6,000 元 (約 9 万円) 集まったとのことであった。コーヒーが出されたところで卓話が始まる。この日は WWF 世界野生動物基金・上海副所長 Linnet-Kwok 女史が "EarthHour~ エネルギー消費と環境問題" について、スクリーンに内容を映しながら約 30 分話をされた。そのあと 3~4 名の方との質疑応答があって 8 時半に例会は終わった。

出席して本当に良かった、楽しかったとの思いで会場を辞したが、その後の上海クラブのサービスがまた良かった。鹿児島に帰ってすぐ (例会出席から 3 日目)、クラブの PR 理事という方から Mail が届き、例会に出席してくれた御礼とともに、次の上海訪問の折にも是非出席して欲しい、また上海を訪れる知人にも上海クラブのことを伝えて欲しいとの事である。それと一緒に当日出席していた約 20 名のビジターのスナップ写真と、私がクラブ会長とバナー交換をしている写真が送られてきた。私が御礼の Mail を送るとすぐ、次回お会いするのを楽しみにしていますとの返信を頂いた。

それから 2~3 日して、例会の時私の隣に座って何かと気を遣ってくださったクラブ副会長から、私が出席した次の週の週報 (7 ページにわたる) を送ってくださった。何故なら記事として私とクラブ会長とのバナー交換がでているからである。私も早速、是非鹿児島にいらして桜島が見えるゴルフ場でゴルフをしましょう、と Mail を送った次第である。何故なら彼は鹿児島に来たことがあり、桜島を懐かしがっていたからであった。事程左様に、すっかり上海 RotaryClub のファンになっている次第である。

カナダで最も早くから開けたケベックにあるモンリオールは、フランス語を話す街としてはパリに次いで世界第二位の都市である。この街に 3 週間ばかり滞在する機会があったので、ロータリークラブを訪問してみた。320 万人の大都市であるモンリオールにロータリー・クラブは 6 つある。一番歴史があるのがモンリオール・クラブで 1913 年創立、シカゴにロータリー・クラブが誕生して 8 年後である。せっかくならこのクラブを訪問しようと電話してみると、朝 7 時 30 分に例会が始まるので、私が滞在していた郊外からは無理だと思い断念した。調べてみると 6 クラブのうち、3 クラブが朝 7 時 30 分から、あとの 3 クラブが 12 時 30 分から始まる。次に古いのがウェストマウント・クラブ 1940 年創立。ここが 12 時 30 分なので、このクラブに出席することにした。

12 時 00 分少し前に会場に着くと、年配の会員が受付をやっている自分が幹事だと自己紹介した。今朝クラブ事務所に電話した時は、彼の弁護士事務所に繋がった。という事はクラブ事務局を幹事が自分の事務所でやっているということになる。他のクラブ事務局に電話した時は幹事の自宅に繋がった。事務局費を節約する為であろう。

このクラブは会員 41 名であるが、12 時 00 分過ぎにはほとんどのメンバーが集まりグラス片手に談笑

している。いわゆるハッピー・アワーである。SAAが私を会長の所に案内した。会長は若い女性であったが、会員の間を話しながら回っている。聞いてみると年配の幹事は30年以上も前に会長を務めたが、今年度はこうして若い会長を支えているとの事である。今日はたまたま運のよい事に、このD7040地区のガバナー公式訪問日だという。挨拶したいと言うと彼のところへ連れて行って紹介してくれた。彼もワインを飲みながら会員と楽しそうに談笑している。名刺を交換すると彼はケベック州に隣接するオンタリオ州のPetaWaWaRCから出ているガバナーである。彼のクラブが2010年このモントリオールで催されるロータリー世界大会事務局になっていると説明してくれた。今日こうしてお会いした縁なので、2010年のモントリオール大会には必ず出席することを約束して握手した。

12時30分になると会長がグラスをスプーンでたたいて例会が始まる。会長挨拶のあと、私は紹介されてバナーの交換をした。会員の皆さんが立ち上がって拍手してくれたのは嬉しかった。本当に歓迎されているのだという気持ちになる。

会場のそばに1時間だけと言って運転して来てくれた方を待たしていたので、1時00分には会場を辞した。残念ながらガバナーのアドレスは聞くことが出来なかった。



出席報告	会員数	出席	出席率%
第605回2月25日(木)	51	30	58.82
第603回2月4日(木)訂正	51	42	82.35

ベンリレー⑦ 会員名 小山田吉治
 “青春時代” 自分の中で一番輝いている時代を青春時代と呼ぶのであれば、私の場合は大阪での学生時代が、まさしく青春時代であったと思っています。蒲生町で育ち、加治木町で学び、初めての都会が大阪。当時の西駅を夜行列車で出発し、翌日大阪駅に降り立ってからが、私の新しい人生の始まりでした。

兄貴の同級生に迎えられ、駅からスケートリンクへ、そこで他人とぶつかり派手に転倒、顎を強打し記憶喪失に・・・言葉が通じず意識が虚ろで医務室で暴れ・・・大阪に着いて3日目にアパートに到着、荷物が届いてなく布団のない木製ベッドで一夜を過ごす。翌朝近くのお店で言葉が通じずパンすら買えず、別なお店で手話もどきでやっと食事が・・・。入学前に夕食とお風呂付のボーリング場でバイトを始める。

大学ではクラスの留学生から外人に間違われ、クラブ活動の強制勧誘では空手部と言葉が通じず乱暴を受けサッカー部に逃げ込む・・・。

こんな具合で大学生活が始まったわけで、それまで描いていた夢も希望も、そして恋愛さえも叶わぬ環境にあることに気づくのでありました。最初が肝心とよく言いますが、いきなり大阪という街に良い意味で歓迎を受けましたので、“この街で暮らすぞ”という覚悟が備わったのでしょね。それからの4年間はしっかり元を取らせて頂きました。

今にして思えば、口に出した言葉や行動に責任を持つという体験が、とても貴重なことだったと考えています。身体は年々老化しますが、体験したことは歳をとりませんね。今でも当時の出来事を思い出すたびに、吹き出してしまうことが度々あります。

時代が変わっても昨日のこのように思い出せる時代、これが私の青春時代です。

今回は、国際奉仕委員会の副委員長であり、学生時代には陸上部で活躍をしていた弁護士、本木君をお願いします。



市内他RCプログラム ★例会時間・場所等の変更(記帳受付あり)			
月日曜	RC	プログラム	例会場
3月5日(金)	鹿児島RC	IM(インターシティ・ミーティング)報告	山形屋
3月8日(月)	中央RC	IM報告 石塚会長・川畑幹事 会員卓話 竹添寛君(国際奉仕委員長)	山形屋
3月9日(火)	東南RC	クラブフォーラム 会員増強委員会	サンロイヤルホテル
3月9日(火)	城西RC	鹿児島市内分区 内田修友ガバナー補佐訪問	東急イン
3月10日(水)	南RC	会員卓話 上川咲男会員	サンロイヤルホテル
3月10日(水)	西RC	クラブフォーラム(社会奉仕)	山形屋
3月10日(水)	西南RC	IM報告	ゆうづき
3月11日(木)	東RC	ガバナー補佐訪問例会 市内分区ガバナー補佐 内田修友様	山形屋
3月11日(木)	北RC	会員卓話	東急ホテル